

高齢基礎年金受給者は
生活が不安

低所得者支援について

古賀 低所得者世帯数は。

答弁 住民税非課税世帯数は令和8年4月現在で2,478世帯となっています。

古賀 今後、高齢者や子育て世代など物価高騰で生活に困窮する世帯への支援は。

答弁 今後の支援については、現在のところ国からは示されていません。

古賀 65歳以上の独り暮らし世帯の状況は。

答弁 2020年国勢調査では、多久市は女性17・6%、男性12・9%であり、全国平均は女性22・1%、男性15・0%です。全国より低い状況ではありますが、高齢者率は全国より高く、同居されている率が高いのではないかと分析しています。

古賀 年金生活困窮者への給付金制度について。

答弁 公的年金などの収入金額や他の所得が一定基準額以下の方に、生活の支援を図るために年金に上乗せして支給されるものです。



古賀 公彦 議員

古賀 国の定める最低生活費というのがあるが、年金収入だけで満たない場合はどうするのか。

答弁 最低生活費とは、生活保護制度において世帯単位で収入を認定し、その受給のためには手持ちの資産を活用するなどの要件があります。また相談内容にもよりますが、多久市生活自立支援センターで生活相談の受付を行っています。



猛暑!!
エアコン設置の助成を

市民の暮らしを守る
生活環境施策について

坂口 市における熱中症搬送者数の推移をどのように分析されているのか。

答弁 最高気温が35度を超える猛暑日が増加傾向にあり、熱中症などの健康リスクが高まっていると分析しています。

坂口 高齢者や非課税世帯などへ熱中症対策としての支援は。

答弁 クーリングシエルターや熱中症予防休憩所を市内に19か所指定しています。高齢者世帯への見守りの際には熱中症予防について声かけなどを行っています。

坂口 経済的理由からエアコン設置や使用を控えるケースもあり、命に関わる問題となっている。エアコン購入や設置助成について他の自治体の事例など研究されているのか。

答弁 みやき町で非課税世帯に対して新たに購入されるエアコンの設置補助が行われています。また、国の物価高騰対策交付金を活用するなどにより、省エネ性能を有するエアコン



坂口 絹代 議員

ンへの買換え補助を行っている自治体があります。

坂口 市でもエアコン購入や設置助成について国の交付金活用など検討できないか。

答弁 現時点で、交付金を活用してのエアコン購入時の補助は予定していません。



「行きたくなるまち」とは

市長演告の「行きたくなるまち」について

中島 主な観光施設などの入り込み客数および利用者数の5年後の目標は。

答弁 5年後の目標として、市全体の観光入り込み客数を50万人と設定しています。

中島 市内の観光施設などによる経済効果についてどのように認識しているか。

答弁 数値化を図ることは非常に難しい面もありますが、市内の観光施設などに来られた際には、施設の利用に伴う飲食、またお土産、宿泊、商店での買物などを通じて、地域経済に一定の効果をもたらしているものと考えています。

中島 市長が交流人口増加のため、市民の意見を聞く公聴会の具体的方法は。

答弁 開催方法については、各町公民館での日程を決めた開催ではなく、市民が集まる会議やイベントに出向き、話ができればと考えています。



中島 國孝 議員

中島 スポーツ施設の整備をして、若者の交流人口増に向けた取り組みができないか。

答弁 スポーツ施設を活用し、様々なイベントを通して市内外の交流の機会を増やし、地域の活性化を図っていききたいと思っています。



市民の命と財産を守り、地域の持続可能性を確保するための欠かせないテーマです



小川 三郎 議員

特殊詐欺、闇バイトによる
犯罪被害の防止について

小川 佐賀県警では、防犯カメラとドラレコの活用、また複数人が乗車をした県外ナンバーの長時間駐車など、見慣れない車両を見かけたら110番通報をお勧めしています。また、特殊詐欺防止アプリの利用促進などを呼びかけています。多久市では、特殊詐欺防止啓発についてどのような強化をしているのか。

答弁 本市におきましては、消費者生活相談窓口を設置しています。週3回、消費者生活相談員を配置し、市民からの相談を受け付けており、特殊詐欺などの案件につきましては、必要に応じて警察と連携をしながら対応を図っているところと

【その他の質問】
▼夏季の電気代高騰に伴う生活支援とクーリングシエルターの整備、重点支援地方交付金の活用について
▼空き家の再利用・利活用の推進について

